

## 役員などのCOI自己申告書

(就任時の前年1年間: 20 年1月1日~20 年12月31日)

一般社団法人 日本脈管学会  
理事長 古森 公浩 殿

申告者氏名(会員番号): \_\_\_\_\_ (会員番号: \_\_\_\_\_)

所属(機関・教室/診療科)・職名: \_\_\_\_\_

本学会での役職名: 理事長 副理事長 理事 監事 学術総会会長 次回学術総会会長特定委員会名: 委員会委員長 総務委員会 学術委員会 財務委員会 国際委員会編集委員会 専門医制度委員会 保険委員会 利益相反委員会倫理・コンプライアンス委員会 医療安全委員会 将来構想検討委員会高安右人賞選考委員会 評議員選考委員会 広報・ホームページ委員会規約委員会 学会従業員 その他

## A. 自己申告者自身の申告事項

1. 企業・組織や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 (有 ・ 無)

(1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)

	企業・団体名	役職(役員・顧問など)	金額区分
1			
2			
3			

金額区分: ①100万円以上500万円未満 ②500万円以上

2. 株の保有と、その株式から得られる利益(最近1年間の本株式による利益) (有 ・ 無)

(1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)

	企業名	持ち株数	申告時の株値(一株あたり)	金額区分
1				
2				

金額区分: ①100万円以上500万円未満 ②500万円以上

3. 企業・組織や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬 (有 ・ 無)

(1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載)

	企業・団体名	特許名	金額区分
1			
2			

金額区分: ①100万円以上500万円未満 ②500万円以上

## 4. 企業・組織や営利を目的とした団体より、会議の出席(発表)に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当講演料などの報酬

(1つの企業・団体からの講演料が年間合計50万円以上のものを記載) (有 ・ 無)

	企業・団体名	金額区分
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

金額区分: ①50万円以上200万円未満 ②200万円以上

5. 企業・組織や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料 ( 有 ・ 無 )

(1つの企業・組織や団体からの原稿料が年間合計50万円以上のものを記載)

	企業・団体名	金額区分
1		
2		

金額区分：①50万円以上200万円未満 ②200万円以上

6. 企業・組織や営利を目的とした団体が提供する研究費 ( 有 ・ 無 )

(1つの医学研究(治験、共同研究、受託研究など)に対して支払われた総額が年間100万円以上のものを記載)

	企業・団体名	研究費区分	金額区分
1			
2			
3			

研究費区分：①治験 ②産学共同研究 ③受託研究

金額区分：①100万円以上1000万円未満 ②1000万円以上

7. 企業・組織や営利を目的とした団体が提供する奨学(奨励)寄付金 ( 有 ・ 無 )

(1つの企業・組織や団体から、申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に支払われた総額が年間100万円以上のものを記載)

	企業・団体名	金額区分
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

金額区分：①100万円以上1000万円未満 ②1000万円以上

8. 企業などが提供する寄付講座 ( 有 ・ 無 )

(企業などからの寄付講座に所属している場合に記載)

	企業・団体名	寄付講座の名称	設置期間
1			
2			
3			
4			
5			

9. その他の報酬(研究とは直接に関係しない旅行、贈答品など) ( 有 ・ 無 )

(1つの企業・組織や団体から受けた報酬が年間5万円以上のものを記載)

	企業・団体名	報酬内容	金額区分
1			
2			
3			
4			
5			

金額区分：①5万円以上20万円未満 ②20万円以上

## B. 申告者の配偶者、一親等内の親族、または収入・財産を共有する者の申告事項

該当する方の□にシをお付けください。

□すべて申告事項無し：こちらに該当する場合は、本紙最下段にご署名ご捺印のうえご提出ください。

□申告事項有り：下記の該当項目にご記入ください。無い項目は「無」にシを付けてください。

## 1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 (□有 ・ □無)

(1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)

	該当者氏名		申告者との関係	
	企業・団体名		役職(役員・顧問など)	金額区分
1				
2				
3				

金額区分：①100万円以上500万円未満 ②500万円以上

## 2. 株の保有と、その株式から得られる利益(最近1年間の本株式による利益) (□有 ・ □無)

(1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)

	該当者氏名		申告者との関係	
	企業名	持ち株数	申告時の株値(一株あたり)	金額区分
1				
2				

金額区分：①100万円以上500万円未満 ②500万円以上

## 3. 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬 (□有 ・ □無)

(1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載)

	該当者氏名		申告者との関係	
	企業・団体名		特許名	金額区分
1				
2				

金額区分：①100万円以上500万円未満 ②500万円以上

誓約：私の利益相反に関する状況は上記の通りであることに相違ありません。私の日本脈管学会での職務遂行上で妨げとなる、これ以外の利益相反状態は一切ありません。なお、本申告書の内容は、社会的・法的な要請があった場合は、公開することを承認します。

申告日(西暦) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

申告者署名 \_\_\_\_\_



受付番号： \_\_\_\_\_

(本申告書は、任期满了、あるいは委員の委嘱撤回の日から2年間保管されます)

自己申告書の欄が足りない場合に記入出来なかったものについてご記入ください。

申告者氏名 : \_\_\_\_\_

<申告事項>

1. 企業・組織や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額
2. 株の保有と、その株式から得られる利益（就任時前年1年間（20xx.1.1～20xx.12.31）の本株式による利益）
3. 企業・組織や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬
4. 企業・組織や営利を目的とした企業や団体より、会議の出席（発表）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当（講演料など）
5. 企業・組織や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料
6. 企業・組織や営利を目的とした団体が提供する研究費
7. 企業・組織や営利を目的とした団体が提供する奨学（奨励）寄付金
8. 企業・組織などが提供する寄付講座
9. その他の報酬（研究とは直接無関係な、旅行、贈答品など）

申告者 (A・B)	申告 番号	企業・団体名	適用（役職・特許名・研究費種類など） *2の場合は持ち株数および株面を記載	金額区分 (各項目を参照して下さい)

\* 記載項目数が足りない場合はコピーしてください。